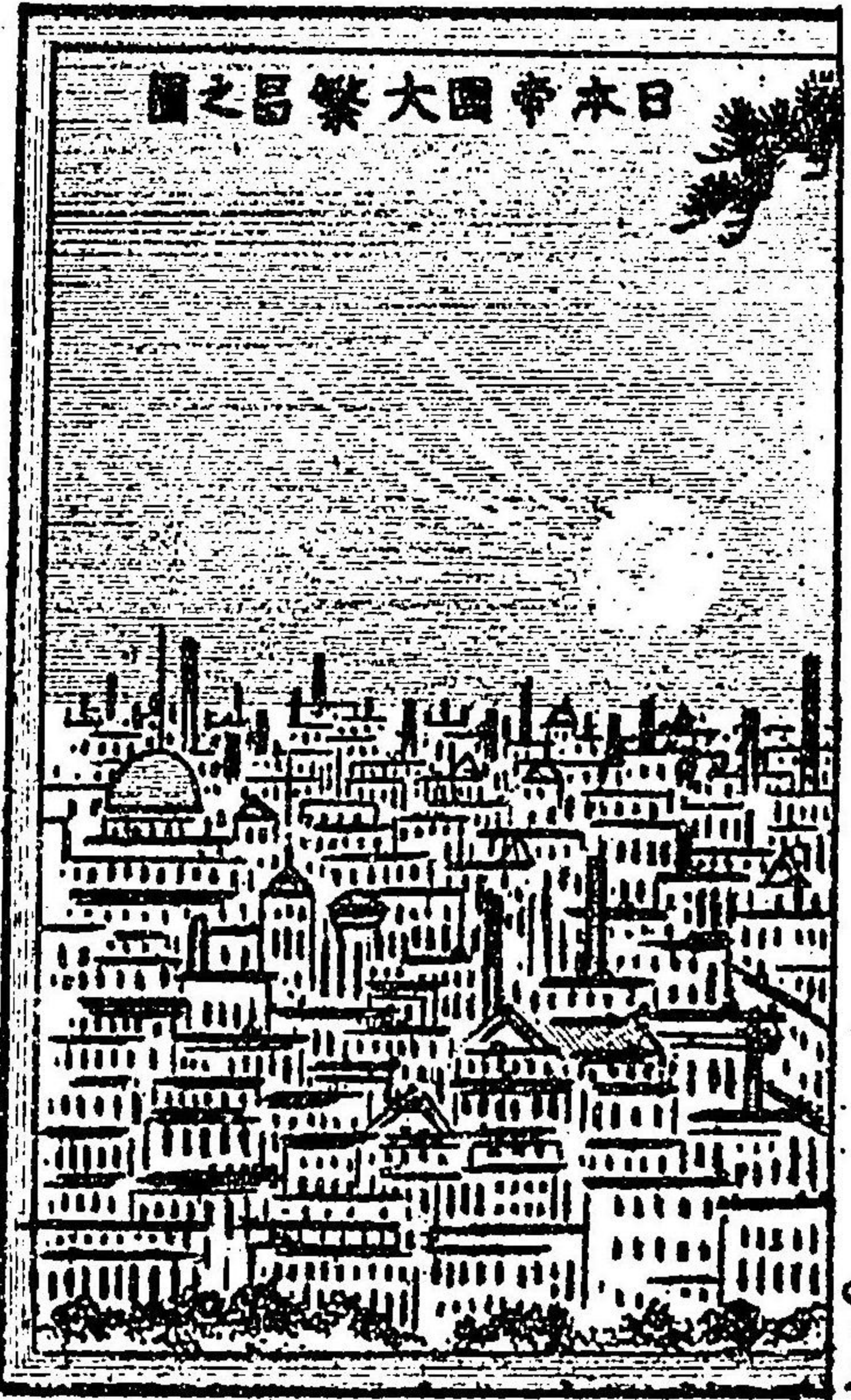


No 6220

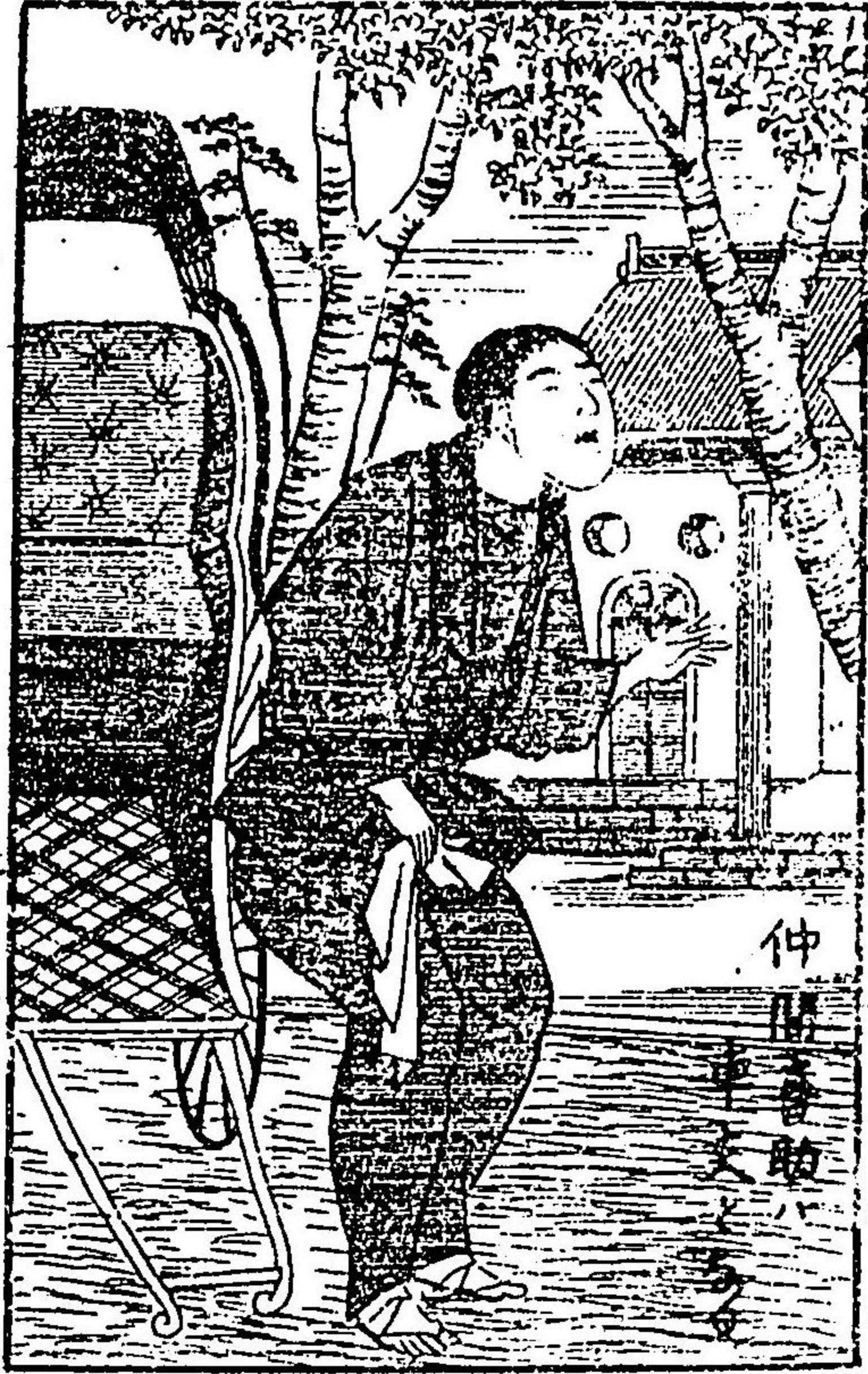


日本帝國繁昌之圖





富永正左門死去の後母親ハ
春富永の相續人ハ深谷
梅治郎を遺守合テ夫婦の
遺言









此叔父も思案
 が何る杯と強
 情云てお春をいぢ
 める

ふ承知

なれハ

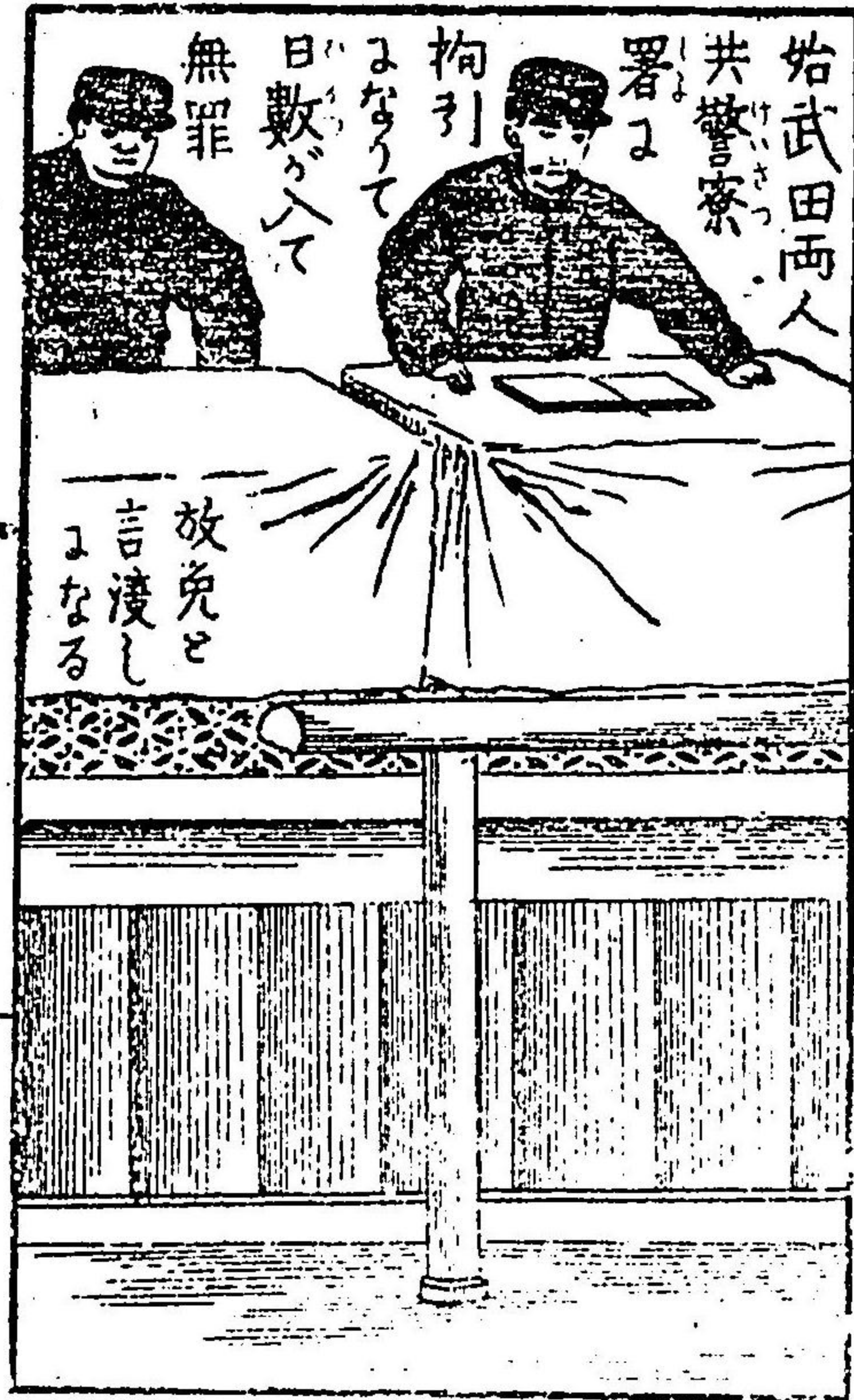
後見の

七



築地

二丁目藤井
 權兵衛は川
 岸よ
 たのまれま
 父の遺言状
 を出た—
 養子を
 取る



國野基ハ畢
竟是^ニまで
讀書^ノのみ
精神^ヲを費
一經歷^ノ
足^ラぬとよ
注意^セざり
過^マ
ち^ニあらんと



心^ハ感^ズ發^ス
せ^ハ是^ニれ
そ國野^ガ
其^ノ身^ヲを
立^テニ熱^シ練^ス
なる^ニ端^ニ
緒^ヲまで
展^ズ
前^ニ報^ナり











十三







十五









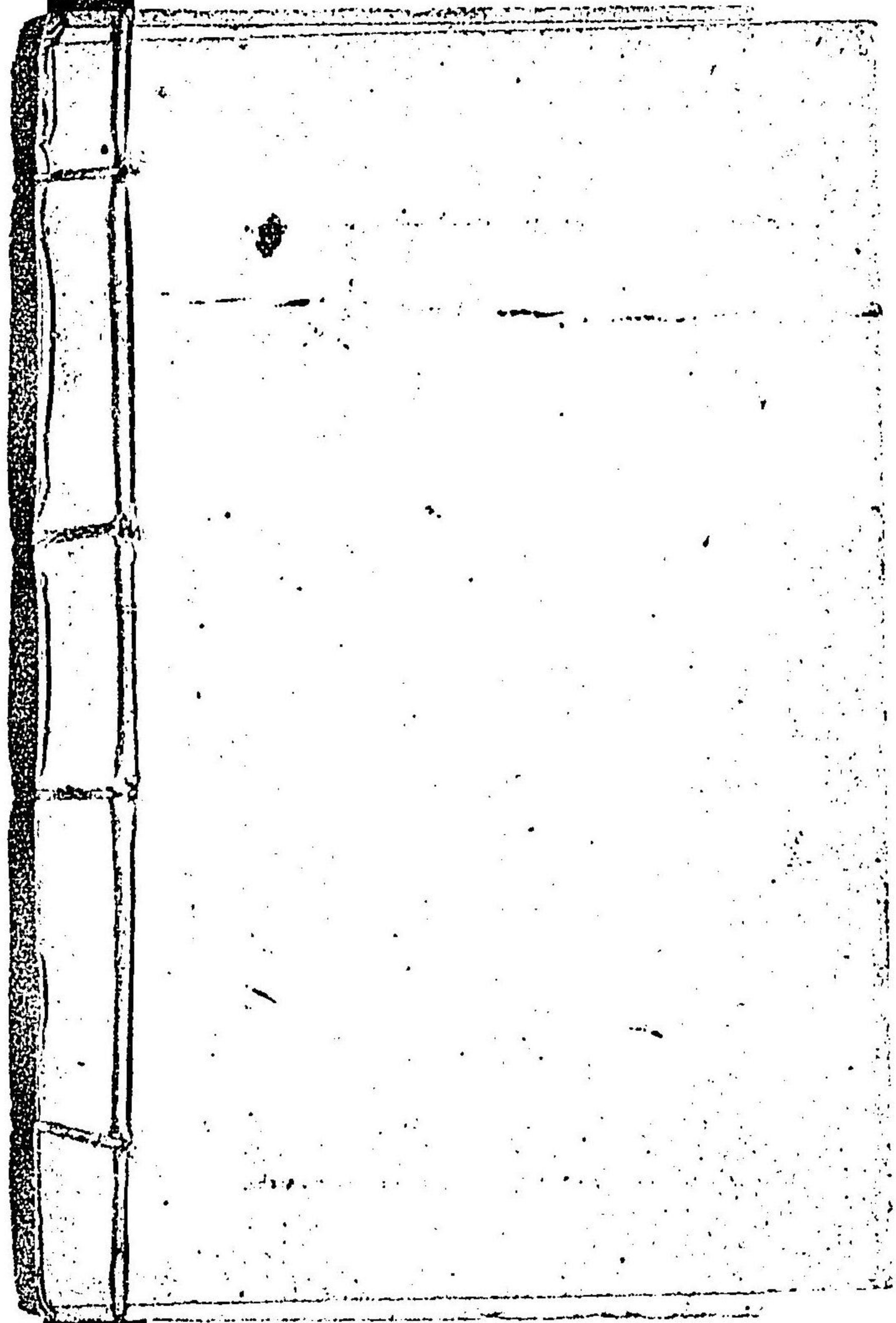
明治二十年九月三十日出版御届
 同年十月三十一日刻成發兌

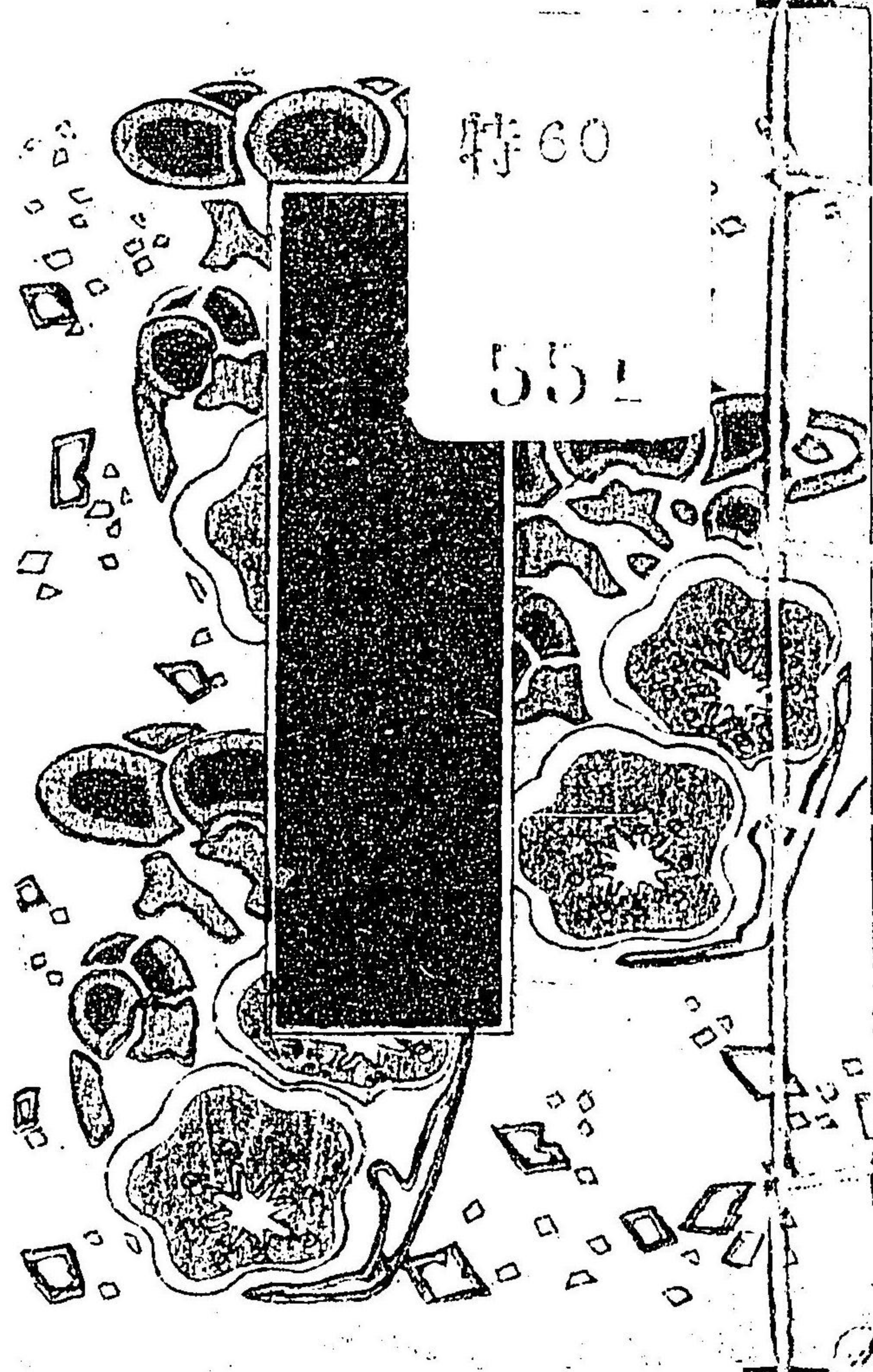
定價金貳拾錢

京都府平民

編輯並出版人 内藤彦太郎

下京區第十三組大壽町九番戶





特 60

55 L